

2024年度(令和6年度)
学校関係者評価報告書

2025年(令和7年)9月17日

学校法人 中村学園
国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

1. 学校関係者評価

(1) 目的

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

(2) 定義

学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

(3) 評価者

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会、評価を行う「学校関係者」を選任する。

(4) 評価方法

当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

【ポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

(5) 評価期間

2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）

(6) 評価結果

- ①評価結果や今後の改善方策等について取りまとめて公表する。
- ②自己評価の改善方策の検討において活用、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

2. 学校関係者評価委員会

(1) 日 時：2025年9月17日 13:30-15:30

(2) 場 所：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校（学校法人中村学園）Nタワー1F バンケット実習室

(3) 参加者：学校関係者評価委員（及び学校事務局）

学校関係者評価委員会の構成

学校関係者評価委員 3名

(順不同 敬称略)

氏名	所属
今関 真治	千葉都市モノレール株式会社 総務部長
原田 正隆	千葉市民活動支援センター コーディネーター
岩崎 正佳	株式会社両総グランドサービス 営業課 課長

欠席の委員2名には後日意見聴取を行う。

学校事務局 9名

氏名	所属
古川 博文	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 校長・副本部長
北 和樹	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 学務室 室長
小川 泰明	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 就職室 室長
石神 直人	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 室長
大久保 昇	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 室長補佐
松本 多英美	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 室長補佐
立石 智之	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 観光科・鉄道科リーダー
塚本 綾	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 ブライダル科リーダー
長谷川 慶太	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 テーマパーク科

(4) 内 容：・学校関係者評価の目的

- ・自己評価に対する学校関係者評価
- ・意見交換

3. 評価

(1) 評価項目について、学校関係者評価委員が評価を行う。

評価：4：達成度80%以上、3：達成度60%以上、2：達成度30%以上、1：達成度30%未満

(2) 評価、意見、改善方策を記載する。

4. 評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目の達成と改善方策

(1)教育理念・目標

評価項目		評価	意見・コメント	
1	理念 目的 育成人材像	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	【委員より質問】 ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか【評価3→3】 【事務局より回答】 観光・レジャー・エンターテイメント業界特性を活かし、テーマパーク科にダンス要素を取り入れたダンス専攻を新設し募集を開始。また、観光科・鉄道科・テーマパーク科を中心にPCやタブレット・クラウドシステムを用いた授業運営ならびに科目としてSNSマーケティングの授業も開始。
2		教育目標、育成人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズに向けて方向づけられているか	3	
3		学校の理念・目的・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	4	
4	特色ある教育活動	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3	
5	将来構想	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3	

項目評価（平均） **3.4**

【改善方策】

- ・テーマパーク科ダンス専攻に関しては2025年度より専門職員の採用。
- ・タブレットに関しては一部の学科ではあるが入学前にタブレット準備、授業においてもITに特化した内容に徐々に変更している。

(2)学校運営

評価項目		評価	意見・コメント	
1	運営方針	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	【委員より質問】 ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか【評価3→3】 【事務局より回答】 ・個人情報の取り扱い、また外部との関わりの中で必要最低限の体制は整備されている。年々変更となる制度や規定(規程)に併せて漏れず修正・刷新していく。また、周辺地域へのコンプライアンス遵守と共に地域貢献を目指す。地域貢献の一貫として定期的に職員にて周辺のごみ拾い活動を実施している。
2	事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	
3	運営組織	運営組織は文書等において明確化され有効に機能しているか	4	
4		意思決定プロセスは整備され機能しているか	3	
5		人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	
6	コンプライアンス	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	
7	情報公開	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	
8	情報システム	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	

項目評価（平均） **3.8**

【改善方策】

- ・学園全体や職階ごとの指導方法や経営に関する研修は行われているが、SNSや様々な機器についての取り扱いやコンプライアンス遵守の為の研修を新たに取り入れていくことを再検討。

(3)教育活動

評価項目		評価	意見・コメント	
1	目標の設定	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	【委員より質問】 ・学生はタブレットだけでなく、パソコンは使えるのか？ 【事務局より回答】 ・パソコンの立ち上げ操作すらできない学生もいるのでは。家庭生活ではタブレットがあれば成り立つので、パソコン離れがあるのではと思う。学生のパソコンスキルには差があり、これまでの教育環境が影響していると思われる、学内で引き続きサポートを行う。	
2		教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		
3	教育方法評価等	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		
4		キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		
5		関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム作成・見直し等が行われているか		
6		関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか		
7		授業評価の実施・評価体制はあるか		
8		職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		
9	成績評価単位認定等	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		4
10	免許資格取得の指導体制	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		3
11	教員教員組織	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		3
12		関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど取組が行われているか		3
13		関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか		3
14		職員の能力開発のための研修等が行われているか		3

項目評価（平均） **3.1****【改善方策】**

・全項目が昨年と同評価。2024年の大きな変化は無いものの、職員の学生指導強化の施策としてgoogleクラスルームを使用した授業が多くなってきている。引き続きIT教育強化等、職員のスキル強化につなげたい。

(4)学修成果

評価項目		評価	意見・コメント
1	就職率	就職率の向上が図られているか	【委員より質問】 ・就職率の向上が図られているか【評価4→4】 【事務局より回答】 ・希望業界への就職が多く叶い、一昨年に先決内定ルールを取りやめたことで複数企業を受験することが可能となった。業界だけでなく希望就職先へ進める学生が増加。希望就職者は昨年（2023年）から4.6%上昇し99.4%とコロナ前同水準となった。
2	資格・免許の取得率	資格取得率の向上が図られているか	
3	卒業生 在校生の 社会的評価	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	
4		卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	
5	評価目標	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	

項目評価（平均） **3.2****【改善方策】**

・就職に関するは外部改善しているが、卒業後のキャリア形成に関してカリキュラム内容を充実させ常に安定した就職状況になるように教育内容を充実させたい。

(5) 学生支援

評価項目		評価	意見・コメント
1	就職等 進路	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	【委員より質問】 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか【評価2→2】 【事務局より回答】 ホテル科国際ホテルコースを、24年度募集より新たにホテル科英語コースの募集を開始。25年度募集より新たにテーマパーク科テーマパークコース・ダンス専攻の募集を開始。
2	中途退学 への対応	退学率の低減が図られているか	
3	学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	
4		留学生に対する相談体制を整備しているか	
5	学生生活	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
6		学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
7		課外活動に対する支援体制は行われているか	
8	保護者 との連携	保護者との連携体制を構築しているか	
9	卒業生 社会人	卒業生への支援体制はあるか	
10		社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
11	高校 との連携	高校・高等専修学校等との連携による キャリア教育・職業教育の取組が行われているか	

項目評価（平均） **3.5****【改善方策】**

・現代社会の急速な変化に対し、専門分野の知識だけでなく、柔軟な思考力や想像力、コミュニケーション能力や倫理観を持つ人材を育成するため

様々な意見や情報を取り入れながら教育方法等を刷新していき、引き続き担任・スクールカウンセラーによる学生心理面のサポートを行う。

(6) 教育環境

評価項目		評価	意見・コメント
1	施設 設備等	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	【委員より質問・意見】 災害対策は難しくなっているので項目5の評価が2と低いのでは。もう少し評価が高くていいと思う。防災訓練は学生と職員両方で行っているか。お客様に何かあった際の救急救命のような授業はあるのか？災害や救急に関わる内容を授業でできたらいい。緊急時に対応できる術を身に付けるのはいい。全員必修の授業もいいのでは。卒業後はフロントに立つ学生が多いので、緊急時の対応は学ぶべき。カリキュラムに入れてはどうか？ 【事務局より回答】 今後検討をしたい。下記【改善方策】を参照。
2		学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	
3	学外実習 インターン シップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	
4	防災 安全管理	防災に対する体制を整備し、適切に運用しているか	
5		学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価（平均） **3.2****【改善方策】**

・防災訓練においては年に一度学園にて実施しており、一部の学科にてAED操作方法や赤十字救急法講習を実施している。学生を含めた学内の防災安全管理

底上げのため、共通科目に防災安全管理に関する講義を導入検討するなど共通カリキュラムの見直しも検討する。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目		評価	意見・コメント
1	学生募集活動	高等学校等、接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	【委員より質問】 経費内容に対応した妥当な学納金であるか 【評価委 4→4】 【事務局より回答】 昼間部で必須としていた国内・海外研修を任意研修とした。昨今の物価高を考慮し妥当性のある学納金設定とした。学生の家庭状況に合わせた学費設定。納得性のある学費設定とした。
2		学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	
3		学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	
4	入学選考	入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	
5	学納金	経費内容に対応した妥当な学納金であるか	
6		入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いをおこなっているか	

項目評価 (平均) **3.8**

【改善方策】

インフラや物価の高騰が続く中で、経費に基づく学納金の適正化を図り、より多くの学生に入学して頂けるよう、在校生の教育成果を今後発信して

(8) 財務

評価項目		評価	意見・コメント
1	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	特になし。
2	予算 収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	
3		予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	
4	監査	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	
5	財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価 (平均) **3.6**

【改善方策】

中村学園全体の財務基盤は安定しているが、学校単体での財務基盤は入学者数の減少により年々低迷しているため、募集増加の方策を策定・実施し

(9) 法令等の遵守

評価項目		評価	意見・コメント
1	法令基準等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営行っているか	【委員より質問・意見】 項目2の個人情報取り扱いは厳しくなっている。この点についてはどうか 【事務局より回答】 個人情報取り扱いに関しては以前より管理が厳しくなっていると感じる。シュレッダーと溶解ゴミでの収集を実施。学校での個人情報の取り扱いは変わっていない。
2	個人情報保護	学校が所有する個人情報保護に関する対策がとられているか	
3	学校評価	自己評価の実施体制を整備し、問題点の改善を行っているか	
4		自己評価結果を公開しているか	

項目評価（平均） **3.5**

【改善方策】

- ・引き続き、学校評価メンバーで発見した課題や改善点について、どのように学内に浸透させていくかを検討する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目		評価	意見・コメント
1	社会貢献 地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	【事務局より】 ビーチクリーン時、参加者や参加企業から高い評価を頂いている。世間にSDGSが浸透しているため、環境保全や地域活性も含め、様々な活動を通じて学生育成や学校の特色を広めてもらいたいとの意見を頂く。
2		地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
3	ボランティア	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	

項目評価（平均） **3.0**

【改善方策】

- ・社会貢献やボランティアだけでなく、身近な地域に貢献できるよう、近隣地区の活動などにも積極的に参加しニーズをとらえる。

(11) 国際交流

評価項目		評価	意見・コメント
1	留学生 受け入れ	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか	【委員より質問】 卒業後の仕事を考えて、留学生はどのような学科を目指して入学して来るのか 【事務局より回答】 ホテル8割、エアライン2割に内定。ビザによる就業ハードルが未だある。
2		留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
3	留学生 指導	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
4		学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	

項目評価（平均） **3.5**

【改善方策】

- ・次年度入学生数が大幅増加となっていることから、現在の学習・生活指導を確認し、適切な体制が取れるようブラッシュアップを行う。

7. 総評

本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標に対して、掲げた目標数値をおおよそクリアすることが出来た。一方コロナ禍が明けたが、入学者数が目標数値を大幅に下回り、コロナ禍で打撃を受けた観光サービス業界（観光・エアライン業界）に対する世間の印象が未だ完全には回復しておらず、業界印象を回復させると共に、学科毎の新たな魅力付けをすることが急務である。

自己点検評価については、前述を踏まえ昨年同様に文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」の評価指標・観点に基づく自己点検を行った。コロナにより様々な様式が変わり、ICTや規程・規則など世間から後れを取らぬようハード・ソフト面での改善を実施したことで、全体的に評価のポイントは上がった。留学生の入学者数についても、日本への入国を待機されていた人員が一様に入学してきたため、募集定員を上回る応募が実現した。しかし、日本人については昨年度を下回り厳しい状況が続いているため、学校・学科の特徴・魅力付けを行うと共に、企業や卒業生など業界情報の収集に努め、募集回復を図る。